

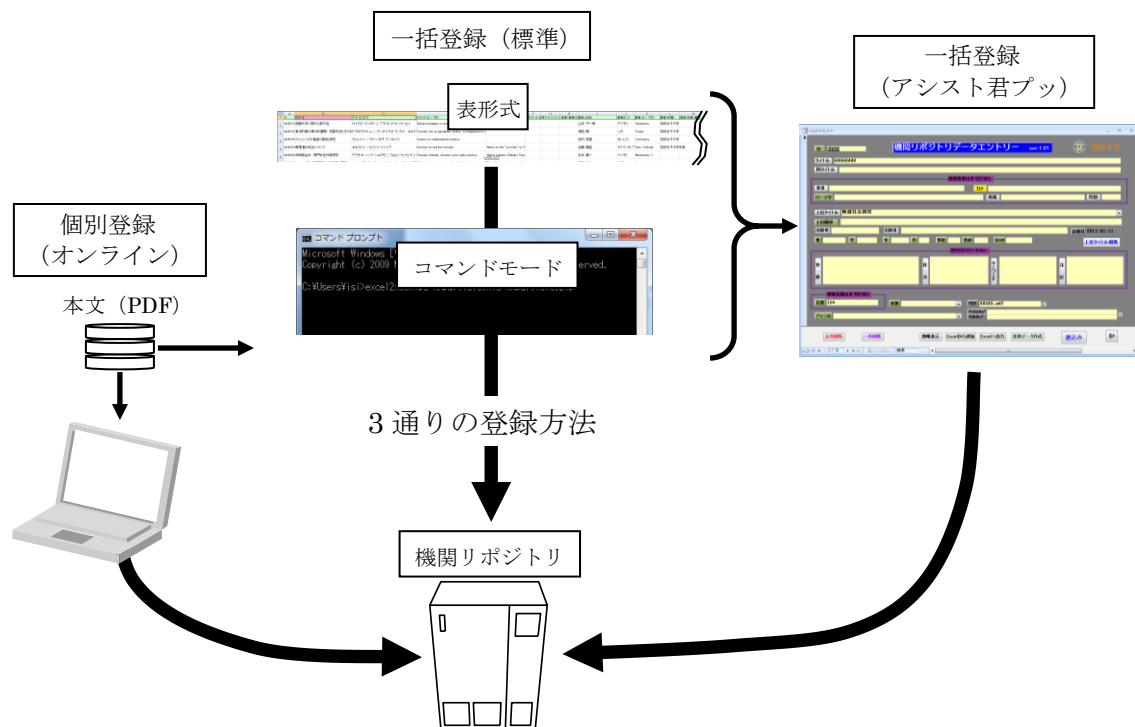
『アシスト君プッ』によるコンテンツ作成の効率化

ー やってみよう！個別登録と一括登録 ー

別府大学 石井保廣

1. 登録方法比較

3通りの方法を説明しているが、一括登録（アシスト君プッ）は一括登録（標準）の改良型ともいえるので、実際にはオンライン登録とバッチ登録の違いと見るができる。



いずれの方法でも、初めてリポジトリを公開する際に、どのようなコンテンツの公開方法を採用するかコンテンツの配列と構成を決める必要がある。XooNIps では、インデックス・ツリーという。一般的には、雑誌のタイトル・巻号ごとに構成されたサイトが多い。事前に、このインデックス・ツリーを作成しておく。

(1) 個別登録

オンラインで1件1件登録する。DSpace と異なる点として、登録画面を1画面に納めている。このため、長いスクロールで登録することになる。また、それぞれのコンテンツ（アイテム）の格納場所とインデックス・ツリーとの整合性に注意する。

(2) 一括登録（標準）

Excel 上で、コンテンツを作成し、別に用意した本文（PDF）を理化学研究所提供の excel2xoonips で処理し圧縮（zip 形式）ファイルを作成し、アップロードする。Excel で操作するため、一括追加や一括編集ができるが、長い表（1行あたり 52 列）であるため何回

も横スクロールしなければならず見通しが悪い。また、excel2xoonips はコマンドモードで操作するため、ある程度の知識が必要である。

(3) 一括登録 (アシスト君プツ)

一括登録 (標準) を使い易くするためアプリケーション「アシスト君プツ (AssistXnp)」を Access VBA で作成した。特徴は、1 画面内に必要最小限 + α の項目とし、漢字モードの設定やプルダウンメニューによるルックアップ参照機能など入力支援 (Assist) と excel2xoonips も、このアプリケーション内に取り込みコマンドモードの煩わしさを軽減するようにした。実際にアルバイト学生に使ってもらっているが、登録作業の効率が大きく向上した。

2. アシスト君プツでの登録の実際

excel2xoonips を他のディレクトリ (アシスト君プツ) から操作するため、固定した作業フォルダを作成し、パスを通しておく。

(1) 初期設定

①作業ホルダの作成とパスの設定

固定したディレクトリとして、C: ドライブの直下に作業用 `cnv2zip` (フォルダ名固定) フォルダを作成しパスを通す。

②上位タイトル (雑誌名) の設定

入力手数を軽減するため、プルダウンで選択した上位タイトルを参照し、上位翻訳、出版地、出版者、ISSN に張り付けるので、上位タイトル情報をタイトル編集画面で作成しておく。

③インデックス・ツリーの作成

該当の場所に登録するため、/Private と /Public にインデック・ツリーを作成しておく。
(インデックス・ツリー見出しは雑誌名 / 巻号 (年号) で作成される場合が一般的)

(2) 起動時の設定

①セキュリティの設定

Microsoft の VBA (Visual Basic Applications) はセキュリティチェックにかかるため、起動時にアプリケーションの実行を許可する。この時、Windows 7 や Windows Vista と Windows XP ではセキュリティの表示形式が異なるので注意する。

②漢字モード

漢字モードを使うケースが多い項目は、項目のラベル (見出し) をクリックし、漢字モードにしておくと、その都度漢字モードを切り替える煩わしさから解放される。

③不要項目の設定

本文ファイルを別途登録する場合やインデックス・ツリーを意識しない場合 (Excel 変換後、一括書き込みする場合) は、それぞれの入力フレームのチェックボックスのチェックをはずし、入力できないように設定しておく。

(3) 登録手順

①メタデータを登録

「アシスト君プッ」の画面上で必要事項を入力する。(1回当たりのコンテンツ数は、処理時間や保守の観点からも50個以下に抑えたほうがよいだろう)

②Excel への変換

Excel 出力ボタンで Excel 形式のメタデータを、初期設定で作った `cnv2zip` フォルダに出力する。この時、ファイル名は `xnp.xls` と固定したファイル名となるので、以前に作成した Excel データが残っていれば上書きされる。このため Excel 形式を保存する場合は、事前に `rename` して別途保存しておく必要がある。また、次のアップロードファイル作成処理の前に、Excel 上で変換後の `xnp.xls` を編集することができる。

③本文ファイルのセット

本文 (PDF) データも同時に登録する場合は、事前にファイル名を `ID+.pdf` として作業フォルダ (`cnv2zip`) に入れておく。

④アップロードファイル作成

変換データ作成ボタンをクリックすると、コマンドモードの `excel2xoonips` が起動し、Excel への返還②で作成した `xnp.xls` から、アップロード用圧縮ファイル `xnp.zip` が作成される。成功したら、プロンプトのところで“`exit`”と入力するか、右上の [×] で終了する。この時、`xnp.zip` が作成されていない場合は、どこかに入力ミスがあるのでチェックし、Excel 上で修正し、再度②、④を実行する。

a. アップロードファイル成功例

```
C:\> C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
[info] Excel file "xnp.xls" was loaded.
[info] - 1 sheets found in loaded file.
[info] - 14 items found in sheet "xnparticle".
[info] Success to create XooNIps import file "xnp.zip".
c:\cnv2zip>
```

14個のインポート用アイテムが作成された

b. よくある失敗例 1

```
c:\cnv2zip> [info] Excel file "xnp.xls" was loaded.
[info] - 1 sheets found in loaded file.
ERROR: Invalid Cell(I12) Found in Sheet "xnparticle". Array Size Mismatch.
c:\cnv2zip>
```

ここに注目 (Excel 上でI列 12行目を表わす)

この例では、著者関係グループの項目で、複数著者のデリミタ“`#`”の数が合わない。著者に関する項目は、著者 ID、著者、カナ、所属など8項目あり、空白となる項目についても、複数著者の場合は、その数だけ“`#`”を入れる必要がある。(次バージョン「アシスト君プッ」では、警告メッセージを出し、該当の項目にフォーカスをセットするように変更することを考えている)

c. よくある失敗例 2

```
[info] Excel file "xnp.xls" was loaded.
[info] - 1 sheets found in loaded file.
ERROR: Invalid Cell(AW2) Found in Sheet "xnparticle". File Not Found.
c:¥cnv2zip>
```

ここに注目 (Excel 上で AW 列 2 行目を表わす)

当方で、一番多い失敗例である。Excel 上の AW 列は、本文 (PDF) ファイルである。この項目の内容と作業用フォルダ (cnv2zip) にセットされた pdf ファイルに不整合が起きている。(記入ミス、pdf ファイルが無いなど)

⑤サーバへの登録

操作権限をもつアカウントから、④で作成した圧縮ファイル xnp.zip を登録する。

3. 再編集

登録したコンテンツが正しくない場合は何度でも再編集ができる。注意すべき点は、すでに Nii にハーベストされたものについては、ID をもとに新規・修正・削除を判断しているようなので、ID を変更しないようにする。

(1) サーバ上にある修正すべきデータを一括削除する

削除の範囲は、ユーザーごとに /Private の該当フォルダごとが 1 単位となる。1 単位がまるごと削除されるため、入念な確認が必要である。

管理者 (モデレータ) でログインし、管理者メニュー → [左ブロックの] XooNips → メンテナンス → アイテム管理 → アイテム一括削除 → プルダウンメニューでユーザーを指定 → [Private の] のインデックスを選択 → 削除ボタンを押す

(2) 修正する

「アシスト君ブツ」上か、xnp.xls を Excel 上で編集し、「アシスト君ブツ」の「変換データ作成機能」で、圧縮ファイルを再度作成しアップロードする。